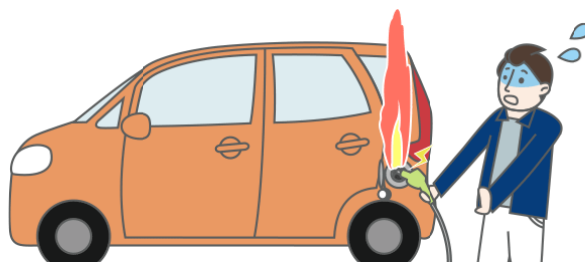


点検・整備・取り扱い

[セルフスタンドでの給油]

吹きこぼれや引火にご注意!

セルフスタンドの給油には注意が必要。
火気厳禁はもちろん、一人で給油しないと燃料が静電気に引火し、火災や爆発のおそれがある。

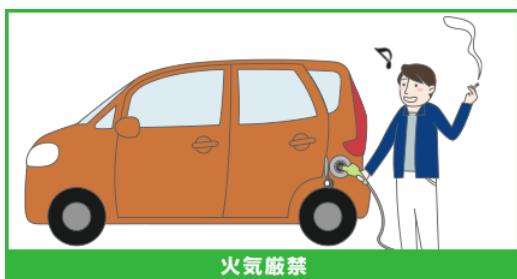


**給油作業は一人で行い、もちろん火気厳禁！
静電気による引火や吹きこぼれにご注意ください。**

身体に静電気が帯電したまま給油すると、火災や爆発のおそれがありますのでご注意ください。また、継ぎ足し給油による吹きこぼれにもご注意ください。

For Safety

安全のポイント



火気厳禁

POINT 01

火気厳禁！給油時はエンジンを止める！

給油する時は火気厳禁です。燃料は引火しやすいため、火災や爆発のおそれがあります。必ずエンジンを止めてください。
また、タバコやライターなどの火気も厳禁です。

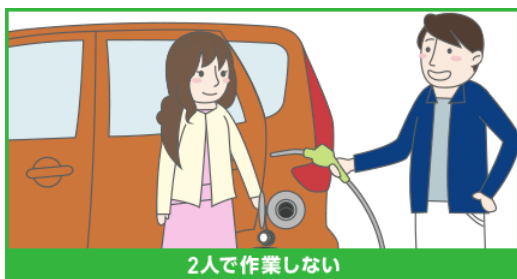


静電気を除去する

POINT 02

給油する前に静電気を除去する。

静電気を帯びていると放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。セルフスタンドに備え付けの静電気除去シートやクルマのボディなどの金属部分に触れ、身体に帯電した静電気を確実に取り除いてください。
また、プラグインハイブリッドEVの場合、給油と充電を同時に行わないでください。充電に伴う動作で静電気を帯びた場合、放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。



2人で作業しない

POINT 03

給油作業は一人で行う。

複数で給油を行うと他の人が帯電していた場合、気化した燃料に引火するおそれがあります。給油作業は一人で行ってください。
給油が終わるまで補給口から離れないでください。
途中、シートに座るなどすると、再帯電するおそれがあります。



ノズルはしっかり入れる

POINT 04

給油ノズルはしっかり給油口に入れる。

給油ノズルは確実に挿入し、給油が自動的に停止したら、給油を終了してください。ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料が吹きこぼれる場合があります。
燃料をクルマにこぼすと塗装の変色、シミ、ひび割れの原因になります。
正しく給油できない場合は、スタンド係員を呼び、指示に従ってください。

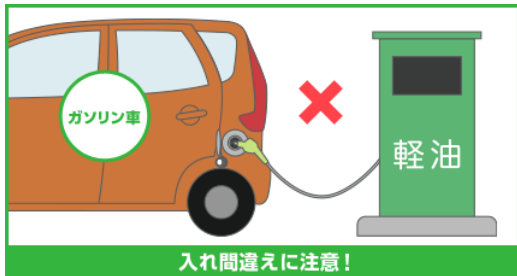


POINT 05

フューエルキャップを閉める時は、 クルマの取扱説明書の手順どおりに。

異物が噛み込んでいないことを確認し、フューエルキャップが燃料補給口に対してまっすぐな状態でゆっくりと回し、確実に閉めてください。

フューエルキャップが斜めの状態で無理に閉めると、フューエルキャップや燃料補給口が破損したり、燃料が漏れる可能性があります。フューエルキャップが斜めになっている場合は、無理に閉めず、必ずまっすぐな状態で確実に閉めてください。



POINT 06

燃料の入れ間違えに注意！

ガソリン車にはガソリン、ディーゼル車には軽油を入れてください。燃料を間違えると、エンジンが壊れたり、走行中に突然エンストするなどして事故の原因となるおそれがあります。

特に、軽自動車に誤って軽油を入れてしまうトラブルが発生しています。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

オープン時間：9時～17時（土日祝・弊社休日 9時～12時・13時～17時）

※050～で始まる番号など、一部のIP電話からはつながらない場合がございます。